

## 市区町村向けアンケート調査票

### 1. 基本情報について

- Q1. 都道府県名をお答えください。[ ] 必須
- Q2. 市区町村名をお答えください。[ ] 必須
- Q3. 担当部署名をお答えください。[ ] 必須
- Q4. 電話番号をお答えください。[ ] 必須

### 2. 貴市区町村の概要について

- Q5. 貴市区町村の概要についてお答えください。(お手元の直近のデータで結構です。)
- 管内人口 [ ]人
- 65歳以上の人口 [ ]人
- Q6. 地域包括支援センターの設置数についてお答えください。(以下、地域包括支援センターを「センター」と記載します。)
- 直営型 [ ]カ所
- 委託型 [ ]カ所

### 3. 貴市区町村における情報連携について

- Q7. 貴市区町村における情報連携について、どの機関・事業所との連携を構築しているか、A市の例を参考として、お答えください。(複数選択可)

(A市の例:医師会を中心に情報連携システムを構築し、各関係機関でネットワークを広げ、情報共有を行っている。そのネットワークの登録先として、市・地域包括支援センター・病院・診療所・歯科医療機関・訪問看護ステーション・調剤薬局・介護施設・居宅介護支援事業所・消防署などがあり、共有している情報は病歴・内服情報・検査結果などで、効率的かつ安全な質の高い医療・介護サービスの提供が可能となっている。)

- 市区町村(その他部署)
- 地域包括支援センター
- 医療機関
- 訪問看護ステーション
- 調剤薬局
- 居宅介護支援事業所
- その他の介護サービス事業所・施設
- 医療に関する情報連携システムは無い
- 介護に関する情報連携システムは無い
- その他関係機関[ ]

- Q8. Q7 で「地域包括支援センター」を選択した方にお聞きします。センターと情報連携している内容についてお答えください。(複数選択可)

- 住民基本台帳
- 介護保険サービスを利用していない住民の基本情報や相談記録
- 要介護・要支援認定申請を行った利用者の基本情報や相談記録
- 介護予防ケアマネジメント業務に係る利用者の情報
- 請求業務や給付管理に係る情報
- 住民や利用者の個別情報を統計処理したデータ
- センターの事業報告
- その他の事務連絡
- その他[ ]

#### 4. 貴市区町村における、センターの業務を支援する ICT 機器(※1)・ICT システム(※2)について

(※1)ICT 機器とは、パソコンや携帯情報端末(タブレット・スマートフォン等)のことをさします。

(※2)ICT システムとは、ICT 機器を活用しながらインターネットまたは一定の制限のあるネット環境を経由して、介護予防ケアマネジメント業務や利用者情報の記録・登録などを行うシステム(介護保険事業ソフト・アプリ等)をさします。

Q9. 貴市区町村内のセンター業務に、ICT 機器や ICT システムを導入・活用しているかお答えください。(いずれかひとつのみ選択)

- 導入・活用している →Q10 へ
- 導入・活用していないが検討している →Q11 へ
- 導入・活用していない →Q11 へ

Q10. Q9 で「導入・活用している」を選択した方にお聞きします。

貴市区町村内のセンターに対する ICT 機器や ICT システム導入のための財政支援についてお答えください。(複数選択可)

- 市区町村の単独事業により支援
- 県の単独事業を活用して支援
- 国の事業(経済産業省)を活用して支援
- 国の事業(厚生労働省)を活用して支援
- その他国の事業等を活用して支援[ ]
- 地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)で支援
- 地域支援事業(包括的支援事業:センターの運営)で支援
- 地域支援事業(任意事業)で支援
- その他[ ]

Q9 で「活用している」を選択した場合の質問文

Q11-1. センターの業務に ICT 機器や ICT システムを導入・活用することについて、期待する効果をお答えください。(複数選択可)

Q9 で「活用している」を選択していない場合の質問文

Q11-1. センターの業務に ICT 機器や ICT システムを活用する場合に、期待する効果をお答えください。(複数選択可)

- 記録業務の効率化
- 介護予防ケアマネジメントにおけるアセスメントや計画作成の効率化
- 介護予防ケアマネジメントにおけるアセスメントや計画作成の平準化
- 介護予防ケアマネジメントにおけるアセスメントや計画作成の質の向上
- タイムリーな情報共有
- 関係機関間のスムーズな連携
- 利用者の情報やセンターの事業に関するデータの統計的処理(報告や研究等への活用を含む)
- 利用者の情報やセンターの事業に関するデータを用いた地域分析
- センターの事業評価
- センター職員の教育・支援体制の整備
- 人員の削減
- 人件費の削減
- その他[ ]

Q9 で「活用している」を選択した人のみ表示 × Q11-1 で選択した選択肢のみを表示

Q11-2. ICT 機器や ICT システムを活用したことで、実際に得られた効果についてお答えください。(それぞれひとつのみ選択)

	○効果があった	△少し効果があった	×効果がない
記録業務の効率化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
介護予防ケアマネジメントにおけるアセスメントや計画作成の効率化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
介護予防ケアマネジメントにおけるアセスメントや計画作成の平準化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
介護予防ケアマネジメントにおけるアセスメントや計画作成の質の向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
タイムリーな情報共有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
関係機関間のスムーズな連携	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者の情報やセンターの事業に関するデータの統計的処理(報告や研究等への活用を含む)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者の情報やセンターの事業に関するデータを用いた地域分析	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
センターの事業評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
センター職員の教育・支援体制の整備	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人員の削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
人件費の削減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他[ ]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q12. センターの業務に ICT 機器や ICT システムを導入・活用することの課題をお答えください。(実際に導入・活用している場合には苦勞した点について、実際に導入・活用していない、または検討している場合はそのハードルについて選択してください。)

(複数選択可)

- 財源の確保
- 導入する際の業務の煩雑化
- 市区町村における ICT 機器や ICT システムに詳しい職員の不在
- センターにおける ICT 機器や ICT システムに詳しい職員の不在
- センターの職員への説明・教育等の支援体制の整備
- 個人情報管理や情報漏洩への不安
- 個人情報管理に係る規定の整理
- センターにおける通信環境の整備
- 市区町村とセンターとの共有システムやサーバー等の環境整備
- センターにおける使用方法の共有や平準化
- 活用の必要性がない
- その他[ ]

5. 貴市区町村におけるリハビリテーション専門職(※3)の関与について

(※3)リハビリテーション専門職とは、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士をさします。

Q13. センターの業務に対するリハビリテーション専門職の関与・支援体制をお答えください。(複数選択可)

(市区町村で雇用)

- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士

(地域包括支援センターで雇用)

- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士

(地域リハビリテーション活動支援事業等を活用して派遣)

- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士

(上記以外)

- リハビリテーション専門職が関与・支援を行う体制がないが、検討している
- リハビリテーション専門職が関与・支援を行う体制がなく、予定もない
- その他[ ]

ここまでに1つのMA

Q13で「理学療法士」「作業療法士」「言語聴覚士」(選択肢9種のいずれか)を選択した場合の質問文

Q14-1. センターの業務にリハビリテーション専門職が関与することについて、期待する効果をお答えください。(複数回答可)

Q13で「リハ職が関与している」を選択しなかった場合の質問文

Q14-1. センターの業務にリハビリテーション専門職が関与する場合に、期待する効果をお答えください。

(複数回答可)

- アセスメントの質の向上(生活行為や課題の見極めのアドバイスなど)
- ケアプランの質の向上
- 利用者や家族への先を見据えた助言・指導
- 利用者や家族との合意形成の促進
- サービス担当者会議における専門的な助言
- 地域ケア会議における専門的な助言
- 医療機関や医療関係者との連携・調整の促進
- 他の事業所や関係者との連携・調整の促進
- センター職員への教育・助言
- 地域の関係者への教育・助言
- 地域のリハビリテーション専門職の育成
- その他[ ]

Q14 で「リハ職が関与している(Q13 のリハ職選択肢×9)」を選択した場合のみ × Q14-1 で選択した選択肢のみ表示  
 Q14-2. センターの業務にリハビリテーション専門職が関与することについて、効果の度合いをお答えください。(それぞれひとつのみ選択)

	○効果があった	△少し効果があった	×効果がない
アセスメントの質の向上 (生活行為や課題の見極めのアドバイスなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ケアプランの質の向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者や家族への先を見据えた助言・指導	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
利用者や家族との合意形成の促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サービス担当者会議における専門的な助言	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域ケア会議における専門的な助言	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
医療機関や医療関係者との連携・調整の促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
他の事業所や関係者との連携・調整の促進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
センター職員への教育・助言	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域の関係者への教育・助言	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域のリハビリテーション専門職の育成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他[ ]	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q15. センターの業務にリハビリテーション専門職が関与・支援することの課題をお答えください。(実際に関与・支援している場合には苦勞した点について、実際に関与していない、または検討している場合はそのハードルについて選択してください。)

(複数回答可)

- 雇用に係る財源の確保
- 派遣に係る財源の確保
- 雇用に適した人材の不在・不足
- 派遣に適した人材の不在・不足
- リハビリテーション専門職の役割や業務内容の検討
- センター内での人材育成体制の構築
- 地域における人材育成体制の構築
- 派遣体制の整備
- センター業務におけるリハビリテーション専門職に対するニーズが不明
- センター業務におけるリハビリテーション専門職の具体的な活用方法が不明
- センター業務へのリハビリテーション専門職の関与は考えていない
- その他[ ]